

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生涯学習センター整備充実事業			会計	款	項目	大	小	
				01	10	05	02	01	
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進			主管課長	戸部 孝彰			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	生涯学習センター施設（1件30万円以上要する修繕）	意図	老朽化し、不具合が生じていた30万円以上の修繕費用を要する設備を交換して快適利用を図る。
事業内容	生涯学習センターを快適に利用してもらうため、施設及び設備の充実を図る。平成26年度は多目的ホールのスピーカー修繕及び多目的ホールステージ床補修を行った。			
事業開始から現在までの状況変化	平成17年度から県から移譲された県立流山青年の家を生涯学習センター施設用に改修し平成18年度からオープンした。施設、付帯設備等が老朽化がみられることから計画的に整備していく必要がある。平成26年度における多目的ホールのスピーカー修繕は平成26年5月23日にステージ床補修は平成26年8月20日に工事を完了し、適正な施設管理事業を遂行している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	利用者数	213,696	186,105	227,377	人
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	平成25年度にESCO事業開始に伴う空調・照明改修工事が行われた結果、平成26年度の光熱水費は前年と比べると約530万円の削減となった。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成26年度は、多目的ホールのスピーカー修繕、多目的ホールステージ床補修の工事を実施した。多目的ホールのスピーカー修繕は緊急を要するため予備費を充当し、ステージ床補修については補正予算により対応した。現在、異常なく安全な管理運営事業を遂行している。		
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			2,902,920	3,243,883			
事業費(b)(円)			1,785,000	2,138,400			
うち一般財源			1,785,000	2,138,400			
職員給与費(c)(円)			1,117,920	1,105,483			
人役・職員(人)			0.16	0.16			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	生涯学習センターを快適に利用してもらうため、設備の充実を図る。	③取り組みの課題	施設には、付帯設備、冷暖房設備など多数の設備が施されている。設備等の経年劣化や老朽化に伴う修繕を実施しながら、設備の良好な環境維持を図る。
②今年度(H26)に実施した取り組み	平成26年度は多目的ホールのスピーカー修繕を実施したほか、多目的ホールステージ床補修の工事を実施した。	④今後の改善計画	メンテナンスを充実させ、老朽化の進行を最小限にとどめるため、計画的な改修整備を進める。